

各位

一般社団法人日本ダクタイトイル鉄管協会
関東支部

平成29年度日本ダクタイトイル鉄管協会(関東支部)セミナーのご案内

皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は日本ダクタイトイル鉄管協会に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当協会関東支部では、毎年水道事業体の皆様方等を対象にセミナーを開催しており、好評いただいております。本年は下記の要領で実施しますので、何かと御多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 平成29年11月16日(木) 13時20分～16時30分 別添資料-1
(受付は12時50分より)

2. 開催場所 静岡市民文化会館 C展示室 別添資料-2-1
静岡市葵区駿府町2-90

3. 講演テーマ及び講師

①特別講演Ⅰ 『「ダイレイタンスー」, 「拘束圧依存」, 「有効応力」と液状化』
関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科
准教授 飛田 哲男氏

②技術説明 『いつ起こるかわからない自然災害 管路施設に要求される性能とは』
一般社団法人日本ダクタイトイル鉄管協会 技術委員

③特別講演Ⅱ 『大災害の教訓と水道法改正の狙い』
元 厚生労働省 水道課長
石飛 博之氏

4. 展示コーナー

当日は各メーカー等の展示コーナーを設けております。ご自由にご覧頂く事ができます。 別添資料-2-2

5. 参加費 無料(交通費は各自でご負担願います。)
※車でご来場される方の駐車料金は各自のご負担となります。

6. 参加申込方法

参加希望者の所属、氏名をご記入の上、11月2日(木)までに、ファックスにより、
別紙参加申込書・質問等を送付下さい。 別添資料-3-1、3-2

7. 連絡先

参加申込に関しては

(連絡先) 一般社団法人日本ダクタイトイル鉄管協会 関東支部 宍倉
〒102-0074
東京都千代田区九段南四丁目8番9号
Tel 03-3264-6655 Fax 03-3264-5075

ご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

(連絡先) 株式会社クボタ 東日本上下水道営業部 東京営業第2グループ 水野
〒104-8307
東京都中央区京橋二丁目1番3号
Tel 03-3245-3139 Fax 03-3245-3186

セミナースケジュール

時 間	内 容	担当または講師
12:50~13:20	受 付 ※講演までの間、展示コーナーをご覧ください。	
13:20~13:25	開会挨拶	一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会
13:25~14:35 (質疑含)	《特別講演Ⅰ》 『「ダイレイタンスー」、「拘束圧依存」、 「有効応力」と液状化』 【説明概要】 本講演では、砂粒のような粒状体の物理の基本に立ち返り、「ダイレイタンスー」、「拘束圧依存」、「有効応力」の3つのキーワードをもとに液状化の発生メカニズムについて解説することを試みます。これらのキーワードには、砂地盤の液状化に関する過去数十年間の精力的な研究の成果が集約されています。最後に、水道事業に関する話題提供として琵琶湖疏水の耐震化の必要性について紹介したいと思います。	関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科 准教授 飛田 哲男氏
14:40~14:55 (質疑含)	《技術説明》 『いつ起こるか分からない自然災害 管路施設に要求される性能とは』 【説明概要】 管路施設には24時間休みなく高い圧力が作用しています。しかも力がかかった状態で何年も使い続けなければなりません。長い年月使い続けていると、大きな地震を被災する確率が高くなります。長い供用期間のうち、いつ起きるか分からない地震に対しても安全であることが管路施設には求められています。ダクタイル鉄管はこれらの要求に応え得る管材です。実績に裏付けられた耐震性と長期耐久性についてご紹介します。	一般社団法人日本ダクタイル鉄管協会 技術委員
14:55~15:20	『展示コーナーの紹介及び休憩』	
15:20~16:30 (質疑含)	《特別講演Ⅱ》 『大災害の教訓と水道法改正の狙い』 【説明概要】 東日本大震災とその後の自然災害では、それまでの大災害の経験を活かした取り組みが功を奏して水道施設の被害の最小化や迅速な復旧・復興に繋がった半面、新たな課題も明らかになった。そこで未曾有の大災害による水道施設の被災状況及び復旧・復興を通じて得られた教訓を説明する。 次に、新水道ビジョンの具体化のため、来年の通常国会で成立を目指す水道法の改正の狙いと、それに対応して水道界が取り組むべき課題を説明する。	元 厚生労働省 水道課長 石飛 博之 氏

会場のご案内

■ 会場名

静岡市民文化会館 C展示室
 静岡市葵区駿府町2-90
 TEL 054-251-3751



■ 交通アクセス

電車でお越しの場合

JR静岡駅北口より徒歩25分・タクシーで10分。静鉄バス利用して10分
 (「市民文化会館入口」下車。バス停より徒歩1分)
 静岡鉄道新静岡駅又は日吉町駅より徒歩10分

静岡駅から
 バスでお越しの場合

JR静岡駅北口バス乗り場より、下記の路線をご利用下さい。
 【5番のりば】こども病院線、唐瀬線、上足洗線
 【6番のりば】水梨東高線、竜爪山線、東部団地線、北街道線
 JR静岡駅 → 新静岡センター センバ → 市民文化会館入口(バス停より徒歩1分)
 運賃…大人100円、子供50円 ※平成25年8月現在



■ 駐車場

市民文化会館前地下駐車場

催事等によっては大変混み合います。また、近隣施設との共用駐車場となりますので、他施設の催事等によっても混み合う場合があります。

駐車料金 30分100円(税込)
 ※泊り料金(22:00～8:30) 1,380円(税込)

営業時間 8:30～22:00(最終入庫時間21:00)

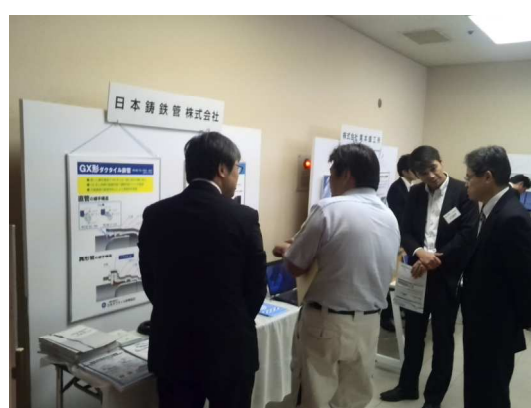
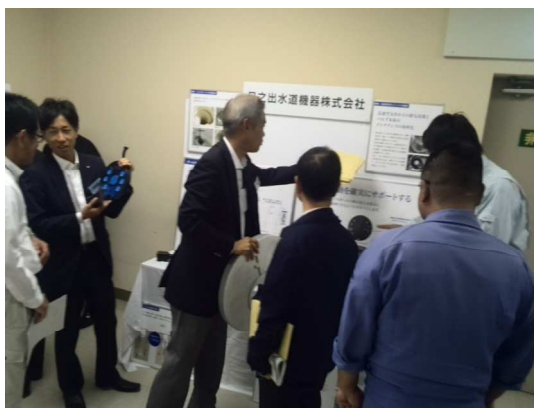
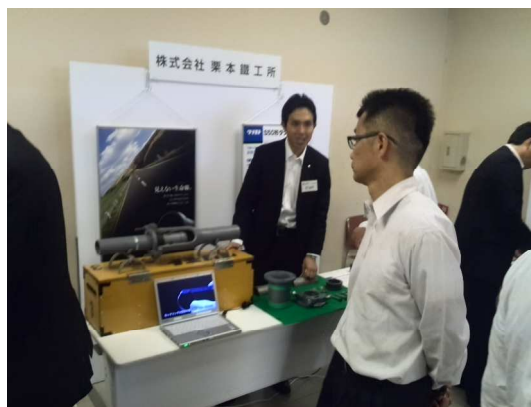
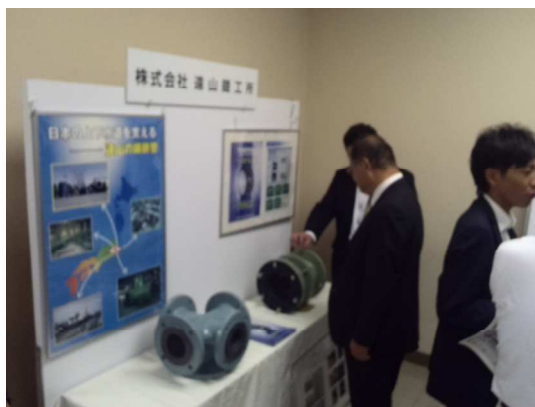
収容台数 246台

入庫制限 車高・車幅とも2m以内

昨年の静岡県会場の様子

展示コーナー

昨年は、6つのブース(会員会社5社+鉄管協会)で製品等の展示をしました。今年は昨年以上に展示内容を充実させ、皆様に耳よりの情報をお届けいたします。今年は12時50分から展示コーナーをじっくりとご覧いただけます。ひやかし大歓迎です。日本ダクタイトル鉄管協会の世界をお楽しみ下さい。



セミナー

昨年静岡県会場は80名の方にご参加いただきました。



別添資料—3-1(静岡県会場)

一般社団法人
日本ダクタイトル鉄管協会
宍倉 宛

FAX 03-3264-5075

平成29年度日本ダクタイトル鉄管協会関東支部 セミナー申込書

- ◇開催日 11月16日(木)
◇開催場所 静岡市民文化会館
◇参加希望者の所属名、氏名を下記の表にご記入願います。
◇返信依頼期日; 11月2日(木)

所属名	氏名	水道経験年数
		事務系・技術系 ～5年・6～10年 11年～20年・21年以上
		事務系・技術系 ～5年・6～10年 11年～20年・21年以上
		事務系・技術系 ～5年・6～10年 11年～20年・21年以上
		事務系・技術系 ～5年・6～10年 11年～20年・21年以上
		事務系・技術系 ～5年・6～10年 11年～20年・21年以上
		事務系・技術系 ～5年・6～10年 11年～20年・21年以上
		事務系・技術系 ～5年・6～10年 11年～20年・21年以上
		事務系・技術系 ～5年・6～10年 11年～20年・21年以上
		事務系・技術系 ～5年・6～10年 11年～20年・21年以上
		事務系・技術系 ～5年・6～10年 11年～20年・21年以上

◇貴事業体等の連絡先

・事業体等の名称

・参加申込代表者の氏名
(問合せ窓口)

・E-mail

・電話番号

・FAX番号

別添資料—3-2(静岡県会場)

一般社団法人

日本ダクタイトイル鉄管協会 宍倉 宛

FAX 03-3264-5075

貴事業体名

◇当日の講演内容への要望、質問等。また、講演と無関係だけど講師の先生へ一度聞いてみたかった事など、この機会にどうぞお書き添えください。

関西大学 飛田先生
《「ダイレイタンスー」,「拘束圧依存」,「有効応力」と液状化》 への要望・質問等

元 厚生労働省 水道課長 石飛 博之様
《大災害の教訓と水道法改正の狙い》 への要望・質問等

日本ダクタイトイル鉄管協会・展示コーナー への要望質問等

例) 接合の様子が見たい